

平成25年秋の褒章

健康友の会ふれあい

緑綬褒章を受章

友の会が取り組んできた「安心して住み続けられるまちづくり」の活動が評価され、「健康友の会ふれあい」が緑綬褒章を受章しました。

伝達式に出席して

小西ひで子

11月13日、平成25年秋の褒章伝達式に参加し、褒章を戴きました。

厚生労働省の2階講堂にて、11時から式は厳かな雰囲気の中で始まりました。

閉式の辞

国歌演奏

褒章伝達

厚生労働副大臣の挨拶

閉式の辞

緑綬褒章の出席は、個人

8、団体9でした。

開式までの時間、隣り合わせの方と情報交換。手話サークルが3団体（36年間続いているとのこと）の受章が印象に残りました。

氏名

健康友の会ふれあい

功績概要

社会奉仕活動功績

主要経歴

現 医療施設等

奉仕団体

(内閣府ホームページ)

褒章受章者名簿から

緑綬褒章とは

緑綬褒章は、社会奉仕活動に従事し、顕著な実績のある個人などに授与される。平成25年秋の受章者は、8名、13団体。千葉県の受章者は、「健康友の会ふれあい」1団体のみ。

11月3日付で発令。11月13日に厚生労働大臣より伝達された。

の種蒔きから絶え間なく連続して取り組んできた友の会の活動が花開き、緑綬褒章受章に結実したものです。

健康友の会

ふれあいの歩み

鈴木春夫

1986年の「ふれあい」(昼食会)発足、その後、生活支援「たすけ愛」(03年・介護保険では対応できない助け合い)、高齢者の一人

ぼつちをなくそう!と、高齢者訪問(01年)、「ふれあい喫茶」(07年)など、安心して住み続けられるまちづくりに取り組んでいます。

清拭布づくり、ガーゼ折り活動(01年)、病院外来案内、友の会コーナー(04年)、花クラブ(09年)など、医療と介護の拠り所、健生病院・診療所、まわりの郷、からたちと共に活動してきました。

また、これらの活動を支える新聞『友の会だより』の編集・発行・発送・配布に、事務局など、友の会活動に多くのボランティアが参加しています。

これまで「ふれあい」は千葉市長、千葉日報から表彰、厚生労働大臣賞(10年)を受賞しました。

「社会奉仕活動に従事し顕著な実績」は、諸先輩方々

社会奉仕活動の歴史

「地域に一人ぼつちの高齢者をなくそう」と始めた「ふれあい昼食会」など私たちのボランティア活動が緑綬褒章を受章すること、びつくりしました。

仲間と一緒に「よかつたね」

高橋明子



左から産経、千葉日報、読売新聞掲載記事

「よかつたわね」と電話をくれたのは、食事会の献立や調理に、最初から一緒に取り組んでいたIさん、思い出話に花が咲きました。たぐさんのボランティアアさんとともに、調理や血圧測定などの病院職員、会場施設を提供の公民館などに支えられた食事は毎回、笑顔に包まれていました。転居したり、施設に入ったりして、今ほもうバラバラになってしまった仲間たちですが、受章の知らせを一人一人に届けて喜びを分け合っていたらと思っています。

受章とてもううれしいです。ふれあい昼食会を13年続けられたのは、良きリーダーに恵まれ引つ張っていったからです。(伊藤工子) 私は13年間食事を作ってきました。私たちの後を引き継いで昼食会を続けてくれたことに感謝します。ともうれい受章です。(梅原るり子)

「認められてうれしい」の一言です。一人でも多くの人に喜んでもらえればと食事づくりに励んできよかったです。(石黒フジエ)

「認められてうれしい」の一言です。一人でも多くの人に喜んでもらえればと食事づくりに励んできよかったです。(石黒フジエ)

「認められてうれしい」の一言です。一人でも多くの人に喜んでもらえればと食事づくりに励んできよかったです。(石黒フジエ)

「認められてうれしい」の一言です。一人でも多くの人に喜んでもらえればと食事づくりに励んできよかったです。(石黒フジエ)



てスタートして半世紀、健生病院友の会の礎を築いて来られた多くの方々、本場に沢山の会員さんの努力に支えられて、この度の褒章と、ボランティアの一人として非常に嬉しく思います。奉仕活動は人様のためと考える自分のため自らの意思で活動を続けることであり、まさに評価は後からついてくるものと実感した次第です。

先達の「志」を引き継いだボランティア活動も発展して現在は10種類以上になり、協力しあって継続して行くことが、今回の褒章を生かすことになるのではと思います。

緑綬褒章を受章おめでとうございます。友の会活動は、千葉健生病院のボランティアとして

友の会の活動は地域の方や患者さんだけでなく、職員にも大きな影響がありました。今後さらにパートナーとして活躍していただきたいと期待しております。

絵本の読み聞かせ

平成の初め頃、月に一度、小児科に入院中の子供たちと一緒に、病室で絵本を見ながら、読み聞かせをし、また年末には看護師さんたちと共にクリスマス会で大いに盛り上がりました。サントさんは誰かが話題でした。(近藤園子)

ただでなく、地域づくりの一端であると話し合い、千葉市ボランティアセンターに登録しました。幕張公民館の協力で開催した「ふれあい食事会」はその後地域の社会福祉協議会の弁当配達にも広がっています。地域づくりのためボランティアとして今後も期待します。

そ全国に広がった「高齢者の居場所づくり」の「昼食会」が、病院栄養科と地元社会福祉協議会や公民館との共同で月1回既に開催されてきました。とても楽しみに待たれていた高齢の皆さんの笑顔が思い出されます。

元友の会事務局長

斎藤江美子

緑綬褒章受章おめでとうございます。

友の会活動は、千葉健生病院のボランティアとして

おめでとうございます。

14、5年前に私が友の会事務所に着任した頃、今でこ

緑綬褒章おめでとう

千葉健生病院院長

岡田朝志

健康友の会の皆さん、緑綬褒章の受章おめでとうございませう。

長年にわたって会員の皆さんが地域で地道に続けて来られた活動が、世の中でこういった形で認められ、評価されるとは思いもかけない喜びだと思います。

地域の中で助け合っ安心して暮らしていくために健康グループの職員も一丸となつて力を発揮して参りたいと思ひます。

皆さんの活動も更に末永く継続されることを期待しております。

友の会県連事務局長

奥田勢津子

この度の受章を心からお祝い申し上げます。

皆様の献身的な努力で長年続いている「ふれあい昼食会」は、地域の高齢者が待ち望む楽しいひととき

ただでなく、地域づくりの一端であると話し合い、千葉市ボランティアセンターに登録しました。幕張公民館の協力で開催した「ふれあい食事会」はその後地域の社会福祉協議会の弁当配達にも広がっています。地域づくりのためボランティアとして今後も期待します。

元友の会事務局長

加藤祐孝

おめでとうございます。

14、5年前に私が友の会事務所に着任した頃、今でこ

友の会の活動は地域の方や患者さんだけでなく、職員にも大きな影響がありました。今後さらにパートナーとして活躍していただきたいと期待しております。

受章おめでとうございませう。地道な活動で地域住民の健康と生活を支えてきた友の会が、客観的に外部から評価されたことに大きな意味があります。400人のボランティアというのには驚きです。安心して住み続けられるまちづくりの上で役割はますます大きくなるでしょう。民医連の共同組織としてさらなる奮闘を期待いたします。



緑綬褒章おめでとう

千葉民医連事務局長
秋元 稔

「健康友の会ふれあい」の緑綬褒章受章おめでとうございます。

健康友の会の前身「健康クラブ」から60年。「無差別平等」の理念を引き継ぎ、献身的な入院患者への支援活動や地域での高齢者ボランティア活動など、高く評価されたものです。ひきつづき、「いのはち平等」を貫く民医連と地域の皆様とともに、「いつまでも安心して住み続けられるまちづくり」に向け、「一緒に力を合わせましょう。」

千葉健生病院事務局長
守月るみ子

この度の緑綬褒章の受賞おめでとうございます。地道な活動がこうしたかたちで認められた事を心より嬉しく思っております。皆さんの活動が地域に根ざして大きくひろがっていることを実感しています。

共同薬局局長
笹島英子

「健康友の会ふれあい」の皆様、受章おめでとうございます。理念に基づいた皆様の毎日の実践が認められた受賞だと思えます。皆様が活動しておられるお姿を拝見して、皆様を支えられて仕事ができることを誇りに思います。

当にすばらしいことだと思います。友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。

福祉会事務局長
野田尚志

緑綬褒章の受賞おめでとうございます。友の会の長い歴史と皆様の献身的な活動への受賞を大変嬉しく思います。これからますます地域を丸ごと支える役割が医療・介護福祉には必要になってくると思えます。

友の会の長い歴史と皆様の献身的な活動への受賞を大変嬉しく思います。これからますます地域を丸ごと支える役割が医療・介護福祉には必要になってくると思えます。

お一人暮らしの方でも、近所の友の会の会員さんと日常的におつきあいがあり、「結構忙しいんですけど」「二人暮らしですけど寂しくないわね」などうれしいお話しも聞かれました。「路線バスが減ってしまいうちがけるのには不便」など切実な声も聞いたりします。

「地域に広げよう健康づくりの輪」を柱にして取り組み30年になりました。地域の多くの方に健康診断を受けてもらう一つのきっかけづくりとして、商店街、駅、健康まつり等で取り組んで来ましたが、無料で相談場所です。痛みやむくみがあり直ぐに受診につながった方もいました。

健康についての正しい情報や内容の充実を努めていきたいと思えます。

今回の受章は会員全員が力を合わせて頂いたものです。一緒に輪を広げて取り組みましょう。

「友の会だより」に詳しい編集 友の会が天皇からおほめの言葉をいただくとは考えてもみませんでした。いずれにしても友の会のボランティアが、ここ30有余年、いつまでも住み続けられるまちづくりの言葉の実現に活動し、これからも止むことはいらないでしょう。

友の会はこれまでどんなことをしてきたのか。先頃発行された友の会35周年誌

手配り 毎月、「友の会だより」を約7500部発行しています。

会員さんにお届けするのに、その70%以上を約300人のボランティア

先輩の方々が切り開いてくださった道を楽しみながら活動してきています。これからも前進あっても後退させないといけないと心新たにしました。

「お互いさま」のふれあいの心を大切に、住み慣れた家での生活が続けられますように活動を続けてまいります。

「健康友の会ふれあい」の仲間が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

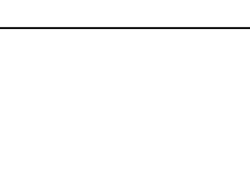
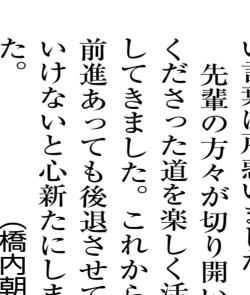
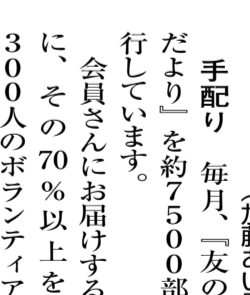
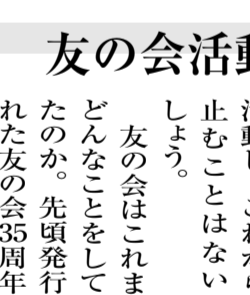
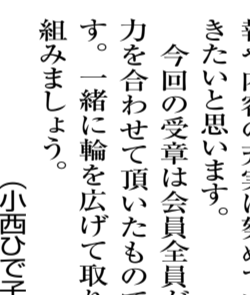
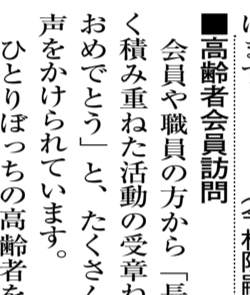
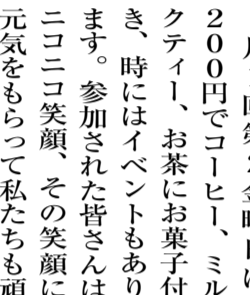
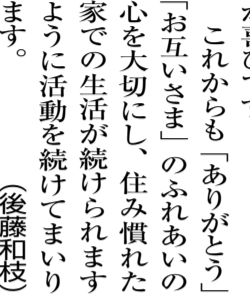
「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」



いつまでも安心して住み続けられるまちづくり

ふれあい昼食会

緑綬褒章受章おめでとうございます。高齢者のお食事作りを諸先輩の方々から引き継いで早や6年。敷かれたレールを脱線することなくスタッフ13名で幕張公民館をお借りして月1回、第4金曜日にワンコイン・500円で、楽しいおしゃべりの場としてお役にたてればとの思いで頑張っております。

生活支援「たすけ愛」

生活支援「たすけ愛」は高齢者訪問で出された「介護保険で対応できない家事の悩み」をきっかけに、2003年2月に発足しました。活動内容は、草とり、掃除、窓ふき、通院・散歩の付添いなどです。作業を終えた後の充実感、なにより依頼者の嬉しそうな笑顔が喜びです。

ふれあい喫茶

今回、栄えある緑綬褒章を頂きボランティアの一員として大変嬉しく思います。普段の地道な活動が認められ、また地域の皆さんのご支援があった結果だと思っております。

友の会デー(バザー)

友の会の長年にわたるボランティア活動が高く評価され、緑綬褒章を受章した喜びを共に分かちあいたいと思っております。

青空健康相談

「地域に広げよう健康づくりの輪」を柱にして取り組み30年になりました。地域の多くの方に健康診断を受けてもらう一つのきっかけづくりとして、商店街、駅、健康まつり等で取り組んで来ましたが、無料で相談場所です。痛みやむくみがあり直ぐに受診につながった方もいました。

高齢者会員訪問

会員や職員の方から「長く積み重ねた活動の受章ねおめでとう」と、たくさん声をかけられています。ひとりぼっちの高齢者を

健生病院グループとつむぎ

清拭布づくり

この度の受章はとも名譽なこと、ボランティアの一員として、ずっと続けてきてよかったと思えました。清拭布づくりは、20年以上の歴史があります。会員さんから提供された古布を裁断して、入院患者さんの清拭に使用します。

入浴介助

受章、とてもうれしいです。「まくはりの郷」の入浴介助は今年で16年目になります。患者さんとのかわりの中で生き方の勉強になり、自分のためになっていきます。

病棟ボランティア

入院患者さんに少しのお入会、会費納入の受付など、日々笑顔をやさしく

友の会コーナー

入会、会費納入の受付など、日々笑顔をやさしく

友の会と私たち

「友の会と私たち」に詳しい編集 友の会が天皇からおほめの言葉をいただくとは考えてもみませんでした。いずれにしても友の会のボランティアが、ここ30有余年、いつまでも住み続けられるまちづくりの言葉の実現に活動し、これからも止むことはいらないでしょう。

友の会はこれまでどんなことをしてきたのか。先頃発行された友の会35周年誌

手配り 毎月、「友の会だより」を約7500部発行しています。

会員さんにお届けするのに、その70%以上を約300人のボランティア

先輩の方々が切り開いてくださった道を楽しみながら活動してきています。これからも前進あっても後退させないといけないと心新たにしました。

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

「友の会が今後ますます発展されることを期待し、お祝いの言葉とさせていただきます。」

友の会の顔としての役割があります。初めてみえて戸惑っている患者さんの質問があれば、職員に代わって対応することもあります。

受章は先輩のみなさんと共に築き上げた実績が評価されて喜ばしい。私にとっても励みになります。今後ますます続けていきたいと思えます。

「病院は花が似合う」と、09年9月、14名で活動を開始しました。

毎月の例会で除草し、種から育てた花を咲かせています。近所の方から綺麗な花ですね、また、葉の花の実を雀がつかむのを見ることが大変嬉しくなります。

受章は長年にわたる社会奉仕活動が評価されて光栄なことです。今後も地域に親しまれる活動を続けたいと思えます。

（津久井 洋）

（宮崎 睦子）

（添田 正子）

（藤代 昌子）

（小西 ひで子）

（今村 隆嗣）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

（高木 晴美）

